

2020.04.23 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 東京 2020 大会延期に関する英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会および UK スポーツによる共同声明



GO GB  
2020

FRIENDS OF GREAT BRITAIN

3月24日（火）、国際オリンピック委員会と東京2020組織委員会は、新型コロナウイルスの世界的な大流行を受け、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を延期し、遅くとも2021年夏までに開催することを発表しました。

これを受け同日、英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会およびUKスポーツは、共同声明を発表しました。

## **BOA、BPA、UK スポーツ共同声明（2020年3月24日）私訳**

英国オリンピック委員会（BOA）、英国パラリンピック委員会（BPA）、UK スポーツは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の延期のニュースを歓迎します。

### **BOA アンディ・アンソン CEO**

「延期を受け入れるのは非常に胸が痛みますが、COVID-19 が国民、コミュニティ、家族に及ぼした壊滅的なインパクトに照らして勘案すると、我々が支持する判断はこれ以外にありません。UK スポーツおよび BPA とともに、夏季オリンピック・パラリンピックスポーツの国内統括団体、ならびに BOA のアスリート委員会および英国アスリート委員会を含むアスリート代表グループとも協議しました。関係者一同は、COVID-19 がアスリートのトレーニングや大会準備に与えた負の影響は、もはや挽回可能な範囲を超えたという点において一致しています。今は東京 2020 大会のことを考えるのをやめ、家で安全に家族と過ごす時です。このような時に国内でも世界においてもオリンピックに向けた準備を続けるのは、やはり困難を極めます。延期は正しい判断です。我々は東京 2020 組織委員会、そして IOC の委員の方々が、この困難な課題から良い結論を導き出すためのご苦労は大変なものであると認識しています。オリンピックは我々の希望の証であり、この暗黒期から世界が再び立ち上がる瞬間を東京で迎えることができると確信しています」。

### **UK スポーツ サリー・マンデイ CEO**

「IOC、IPC および日本による東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の延期決定を歓迎します。我々が直面している前例のないグローバルな課題を踏まえ、本日発表されたことによって、アスリート、コーチ、サポートスタッフが、この非常に困難な時期に本当に重要なことに専念でき、本人と家族の安全を保つことができるようになりました。COVID-19 によって引き起こされた混乱による延期が、関連する組織等にとっても大きな経済的影響を与えることを認識しており、幅広い影響とシナリオを特定するために懸命に取り組んでいます。夏季オリンピック・パラリンピックのスポーツとアスリートをサポートする最善の方法を確立するため、政府と緊密に連携しています。このような困難な時期に地域社会への支援や自宅にいながらアクティブに活動する姿を見せてくれるなど、さまざまな形で自分のやるべきことを果たしているすべてのアスリートに感謝します。大会は延期されますが、スポーツが再び国民を鼓舞する力になると強く信じています」。

### **BPA マイク・シャーロック CEO**

「英国パラリンピック委員会は、COVID-19 のパンデミックにより東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を延期する決定を全面的に支持します。この世界的な危機を阻止し、人々の健康と幸福を守るために可能な限りあらゆることを行うことこそが、いま最優先されるべきです。この決定により世界のパラリンピック選手達に明確な方向性が出たことを歓迎します。同時に、今夏東京で最高の結果を出すためにこれまでの 4 年間努力を続けてきた選手たちにとっては、困難な状況であることは否めません。英国パラリンピック委員会は、我々の選手が 2021 年に最善の準備ができるよう、緊急事態計画をすでに実行しています。この規模のイベントの延期には、膨大な要素を考慮する必要があり、東京組織委員会、IOC、IPC で活動する我々の友人が直面している課題がどんなに大きなものであるか、理解しています。

今こそ、この世界的な脅威を克服するために私たち全員が協力する時です。スポーツには人々を奮い立たせ、結びつける特別な力があります。東京オリンピックとパラリンピックは、全世界にとって希望の証になると確信しています。この前例のない時代から再び世界が復活することを期待しています」。

オリンピック延期というこの決定が、東京オリンピック・パラリンピック大会を運営する素晴らしい組織である IOC、東京 2020 大会組織委員会、および日本政府の準備状況によるものでは決していないことを明言いたします。

我々の思いは、COVID-19 の影響を受けた家族や個人、およびコミュニティの安全を守るために最前線で働いている方々（UK スポーツ関係の医療従事者を含む）にあります。

また、長い時間をかけてハードなトレーニングを積んできた末に、キャリアと自らの達成目標に影響を受けている英国内外の何百人ものアスリートにも心を寄せています。

来年夏のオリンピックに向けてしかるべき時に、オリンピック・パラリンピックのアスリートと共に東京にうかがうことをお約束するとともに、この大会がいまだかつてない試練の時を経て再興した世界の祝典となることを期待しています。

英国オリンピック委員会(BOA)のページ（英語）

<https://www.teamgb.com/news/boa-bpa-and-uk-sport-statement-on-tokyo-2020>

UK スポーツのページ（英語）

<https://www.uk sport.gov.uk/news/2020/03/24/tokyo-games-statement>

英国パラリンピック委員会(BPA)のページ（英語）

<https://paralympics.org.uk/articles/joint-statement-on-postponement-of-tokyo-2020-olympic-and-pa>

2020.04.27 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

**自宅でカラダを動かそう！ Team GB がワークアウト動画を配信しているぞ！**

新型コロナウイルス感染症対策のため、家で過ごしているみなさん、運動不足になったり、ストレスがたまったりしていませんか？！

そんな時は、英国オリンピック代表チーム「Team GB」の自宅でできるワークアウト動画を見て、カラダを動かしましょう！

ワークアウトとは、エクササイズや筋トレなど体を動かし鍛えるトレーニングのこと。Team GB の動画では、トップアスリートたちが普段運動しない人でも簡単に取りかかれるエクササイズから上級者向けトレーニングまで、様々なワークアウトを紹介しています。

ワークアウト動画はこちらから（外部サイト） ↓

[https://www.youtube.com/playlist?list=PLar7mrt65NAjwEW4aBZdbdxWBqkyeDW1\\_](https://www.youtube.com/playlist?list=PLar7mrt65NAjwEW4aBZdbdxWBqkyeDW1_)



動画はもちろん英語ですが、英語がわからなくても大丈夫！

選手が実演しているので、動きを真似してみましょう。

字幕を見たい人は YouTube の字幕・翻訳機能（※）を使えば日本語の字幕表示も可能です。

動画は全部で 29 種類（2020 年 4 月現在）。

ワークアウトの時間は 1 つあたり 15～20 分程度です。

初心者には、スノーボード競技のエイミー・フラー（Aimee Fuller）選手が紹介するモビリティワークアウト（体の可動域や柔軟性を高める軽い運動）や、飛込競技のレオン・タイラー（Leon Taylor）選手が紹介するヨガの動画からはじめてみてはいかがでしょうか。カラダがとてもほぐれます。

体力に自信のある人は、全力の運動と少しの休憩を限界まで繰り返すトレーニング法、高強度インターバルトレーニング（HIIT）にぜひ、チャレンジしてみてください！

また、体幹や、上半身、下半身に特化したトレーニングもあります。ぜひ、あなたにあったワークアウトを探してみてください。

カラダを動かしたくてウズウズしているみなさん、Team GB のワークアウトで、体を動かしてストレス発散しましょう！継続すればアスリートのカラダに近づけるかも！？

Team GB の公式チャンネルもぜひご覧ください！（外部サイト） ↓

<https://www.youtube.com/user/teamGBtv>

※字幕・翻訳機能の使い方（PC の場合）

- ① 画面の下部にある「字幕ボタン」をクリック
- ② 「設定ボタン（歯車のアイコン）」「字幕（1）」をクリック
- ③ 「英語（自動生成）」をクリック
- ④ 「自動翻訳」が表示されるのでクリック
- ⑤ 「日本語」をクリックして完了！

2020.07.28 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## ‘Dear Tokyo’ 東京 2020 オリンピック 1 年前～ Team GB からメッセージが届きました



### Team GB から東京へ、「オープンレター」という形のメッセージ

東京 2020 オリンピックまであと 1 年となった 2020 年 7 月 23 日、英国オリンピック代表チーム Team GB が、東京に向けた最新の動画を公開しました。「Dear Tokyo」で始まる動画のナレーションを担当するのは、テコンドーでオリンピック 2 度のメダリストとなった、ルタロ・ムハンマド (Lutalo Muhammad) 氏です。

動画では、1964 年にアジアで初めて開催された東京オリンピック競技大会が、復興と平和の祭典として世界をひとつにした様子を紹介するとともに、現在の困難の中において、来夏に延期となった東京 2020 大会が「世界の人々にとって希望の礎となり、東京が私たちが再び団結させる」と、ムハンマド氏が静かに熱く語りかけています。

‘Tokyo is What Makes Us’

<https://youtu.be/BQ79CiIrKtc>

Dear Tokyo,

We first met in October 1964;  
the weather was warm, and the colours of autumn  
were starting to push their way through.

We travelled to see you in all your beauty  
for an event that would symbolize re-emergence and peace.

You united the world, bringing live images into  
our homes and pictures of moments we'd never forget.

Since then, you've held a very special place in our hearts.

Decades have passed but the memories live on.

We were due to meet again this summer,  
but nothing could have prepared us for what happened.

The world is hurting right now, and it needs time to heal.

We'll be apart for another year,  
but they say that absence makes the heart grow fonder,  
and this much we know is true.

When the time comes, we'll be ready to return – to your bright lights,  
your captivating culture and your warm and passionate people.

23 July 2021 stands as a beacon of hope to the world.

An unparalleled celebration of unity,  
It will be you who brings us all together once again.

Until then, we'll keep preparing, keep improving and keep building.

Because Tokyo is What Makes Us.

With love,  
Team GB

### **東京 2020 大会 1 年前に際して Team GB の最高経営責任者および選手団長（シェフ・ド・ミッション）からの言葉**

また、動画の公開に際し、Team GB のアンディ・アンソン CEO とマーク・イングランド選手団長もコメントを寄せています。

#### **アンディ・アンソン CEO**

「これまでとまったく違った状況のもと、我々はもう一度、東京 2020 オリンピック大会の 1 年前を迎えることとなりました。誰にとっても困難であった 4 か月の期間、Team GB の全てのアスリートと、Team GB に関わる全ての人々が示した態度や取組について、我々は非常に誇らしく思っています。

アスリートには国民の心を一つにする力があります。彼らの姿を見ることで、人々は再び来年の夏の東京を待ち望むようになるに違いありません。」

### マーク・イングランド選手団長

「今日は、本来であれば、東京 2020 オリンピック大会の開会式前夜であるということは、とても信じ難いことです。我々が目指すのは、常に Team GB が東京で最も準備が整ったチームになることであり、大会が延期されたとしてもそれは変わりません。ロックダウン以前のチームは、申し分のない状態にあり、貴重なパートナー、関係者、そして舞台裏で辛抱強く取り組んできたチームのおかげで、依然として、同じ状態を保っていると言っても過言ではありません。何よりもまず、この期間に Team GB とその競技のアンバサダーを務めたアスリートに感謝したいと思います。来年の夏、彼らは国民の誇りとなるでしょう。」

英国オリンピック代表チーム(Team GB)のページ (英語)

<https://www.teamgb.com/news/team-gb-demonstrates-its-support-for-tokyo-with-one-year-to-go>

2020.10.22 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

**英国パラ陸上のジョニー・ピーコック選手が出演するドキュメンタリー映画が Netflix で公開中**



**ParalympicsGB**



### 東京 2020 大会での金メダルが期待される選手の一人です

来年に延期された東京 2020 パラリンピック開催まで 1 年というタイミングで公開された Netflix オリジナル映画『ライジング・フェニックス: パラリンピックと人間の可能性』は、世界のパラリンピアン半生の半生と、競技にかける思いを取り上げながら、パラリンピックが歩んだ歴史を描いたドキュメンタリーです。

映画では、英国のパラリンピアン、ジョニー・ピーコック（陸上 100m T44）選手の半生が紹介されています。彼は 19 歳の時に出場したロンドン 2012 大会で、大観衆の中、金メダルを獲得した英国のスターの 1 人であり、さらには 4 年後のリオ 2016 大会でも金メダルを獲得しています。100m を 10 秒台で疾走するピーコック選手は、東京 2020 大会での 3 連覇が期待されています。



リオ 2016 大会で優勝したジョニー・ピーコック

### ParalympicsGB の HP（2020 年 8 月 14 日付）でも紹介されています

東京 2020 大会が開催される予定だった日に合わせて、パラリンピックムーブメントに関する衝撃的なフィルム、『ライジング・フェニックス』が、8 月 26 日（水）世界 190 カ国で一斉公開されます。

さまざまな国のパラリンピアンが登場する本作品が映し出すパラリンピック大会の物語には、驚くべきストーリーがあります。第二次世界大戦の瓦礫の中から始まり、この地球上で 3 番目に大きなスポーツイベントとなったパラリンピックという地球規模のムーブメントにより、障害や多様性、人類の可能性に対する人々の考え方は今も変化を続けています。

原文資料➡ParalympicsGB の記事

<https://paralympics.org.uk/articles/watch-netflix-release-trailer-for-rising-phoenix-the-story-o>

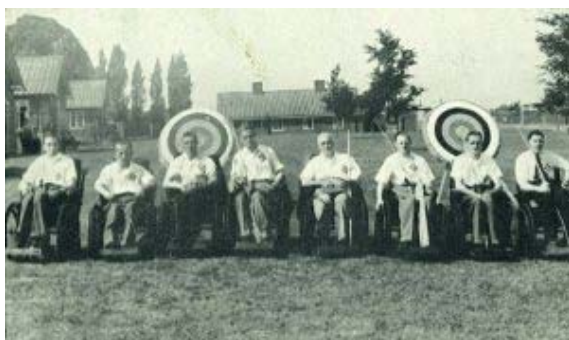


## 英国のストーク・マンデヴィル競技大会の歴史を映像で振り返る

パラリンピックは、1948年に英国のストーク・マンデヴィルで行われた、負傷兵士による車いす競技大会が発祥とされています。第二次世界大戦で傷を負った兵士たちのリハビリを目的として、スポーツを推奨した医師、ルードヴィヒ・グットマン博士は「パラリンピックの父」と呼ばれています。『ライジング・フェニックス：パラリンピックと人間の可能性』では、グットマン博士の娘が登場し、父親である博士との思い出を語ります。



ストーク・マンデヴィル競技大会で挨拶をするグットマン博士



大会に参加した車いすの選手たち

**Netflix オリジナル映画『ライジング・フェニックス：パラリンピックと人間の可能性』オフィシャルトレーラー**

本作品については、約2分間の予告編をご覧ください（日本語字幕付き）

<https://youtu.be/P2uSjfOl26o>

副音声付きの予告編もあります➡<https://youtu.be/pPMaeBnahaU>

2020.11.05 ニュース | 横浜市 | 川崎市

「ホストタウン」情報発信 Web サイトに英国パラリンピック委員会からのメッセージが掲載されました！



内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局により、国内外の多くの方々にホストタウンを知っていただくことを目的として、全国のホストタウン情報を検索できる専用サイト「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project」(外部リンク)が開設されました。

このサイトでは、海外アスリート・サポーターの動画も紹介されていますが、英国パラリンピック委員会 大会準備運営責任者のアネリ・マクドナルドさんの温かいメッセージが掲載されていますので是非ご覧ください。

<https://youtu.be/h0Wm6WRck1I>

また、英国のホストタウンである横浜市、川崎市の紹介ページもありますので、併せてご覧ください。

[https://host-town.jp/hosttowns/search\\_result](https://host-town.jp/hosttowns/search_result)

2020.11.10 イベント | 横浜市

【横浜市イベントレポート】英国代表チームに贈る応援メッセージ写真を撮影！@秋のローズ&ガーデンマーケット



素晴らしい秋晴れに恵まれた 10/31（土）、11/1(日)の週末、日本大通りで開催された「秋のローズ & ガーデンマーケット」において、英国事前キャンプ・ホストタウン PR ブースを出展しました。

「来年の東京 2020 大会に向けて共に乗り越えよう!」「私たちは横浜で待っているよ!」「頑張れ英国!」とうメッセージを込めて、英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」と一緒に応援写真の撮影を行いました。2日間で約 180 組 300 人以上の皆様にご参加頂きました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。



これらの写真は英国代表チームへ贈る応援メッセージ動画として、現在編集を進めています。完成次第、GOGB サイト等に掲載する予定ですので楽しみに！

2020.11.20 ニュース | 横浜市

## 「英国オリンピック委員会 マーケティング責任者オンライン講演会」が横浜商業高等学校で行われました。



横浜市では、東京 2020 大会に向け、英国代表チームを迎え入れる機運を醸成していくため、様々な分野において英国事前キャンプ・ホストタウンに関連した取組を進めています。

2020 年 11 月 18 日(水)、横浜商業高等学校において、英国オリンピック委員会（BOA）マーケティング責任者のエド・ジョーンズ氏が、横浜商業高等学校のスポーツマネジメント科および国際学科で学ぶ 1 年生～3 年生までの生徒を対象に、「An introduction to the Brand and Team GB's campaigns – 英国オリンピック委員会のブランド開発および東京 2020 大会に向けたキャンペーン」をテーマにオンラインで講演会を行いました。



講演する英国オリンピック委員会のエド・ジョーンズ氏

はじめに、ジョーンズ氏から、英国オリンピック委員会が行ってきたブランド開発とその取組について紹介していただきました。Team GB（英国オリンピック代表チームの愛称）のパワー、そしてオリンピックムーブメントの価値を通して、国を一つにし、鼓舞していくため、BOA は様々な手段でブランディングに取り組んでいるとのことでした。

講演会前半では、Team GB が、ブランドを通して、どのように英国国民の関心を高め、英国で最も愛されるスポーツチームとなるまでに認知度を高めてきたのかについてお話されました。アプローチの一つとして、まずは、ソーシャルメディアを上手に活用していくとのことでした。Team GB は、6つのソーシャルメディアチャンネルを通して、300万人のファンを得ており、主要な大会時期以外に

おいても、ファンとの深い関わりを心掛けているそうです。そうすることで、大会時には、国民のより一層高い関わりを促進することにつながるということです。

これらのソーシャルメディアチャンネルを通して、どのようにファンの心に訴えていくのかという点で、まずは、より少なく、より大きい、そしてより良い話をする。加えて、より豊かな関わりを引き起こすために、テーマに一貫性を持たせることが重要だとのこと。こういったアプローチをすべてのチャンネルで行うのですが、それぞれにカスタマイズのアプローチを取り、最もインパクトのあるエリアに焦点を当てていかなければならないとお話されました。

また、このアプローチを成功させるために、コンテンツやプラットフォーム、製品やイベントを通してデジタル環境を整えていくとお話してくださいました。

後半では、ブランド持続のために、BOA が、ロンドン 2012 大会のレガシーとして取り組んできた教育プログラムの紹介や、東京 2020 大会に向け展開されているキャンペーンなどについて紹介していただきました。Team GB が継続的に国からのサポートを受けるため、そしてパートナー、仲間、潜在的なファンから高く評価され、将来的により価値のあるものにするため、パフォーマンスの向上を図り、投資の誘致・拡大につなげていくことに取り組んでいらっしゃるとのことでした。

## 生徒との質疑応答

Q. 今後数か月のうちに、自身のビジネスを立ち上げたいが、低予算で効果的に宣伝広告するにはどうすれば良いでしょうか。

A. まずは、シンプルにデジタルチャンネルに焦点を当てていくと良いでしょう。そこで、ターゲットとなる視聴者は誰か考えましょう。なぜなら、彼らがあなた自身のブランドにとって強力な宣伝効果をもたらしてくれると思います。

常に、なぜビジネスを立ち上げたかという初心を忘れないこと、そして、誰彼問わず、サポートしてくれる人から支援提供を得ましょう。

Q. 日本とイギリスでのオリンピックの盛り上げ方の違いの印象を知りたいです。また、イギリス独自の盛り上げ方を教えてほしいです。

A. 私の見解では、我々は、実際より良い機運醸成の機会へのアプローチを試みています。

ですので、毎日または毎週何かプロモーションを行うということよりは、大きなインパクトを与えるカギとなる瞬間を捉えていくようにしています。

Q. スポーツは、観客が観戦することが一番のマーケティング方法だと思いますが、今、コロナウイルスの影響で観客が入れない状態にあり、マーケティングに関してだいぶ制限されていると思いますが、そのような中で、新しく始めたことはありますか。

A. 以前と現在の違いという点においてあまり時間を割いてはいません。観客数の見直しというのはデジタル上でのファンにつながる興味深い機会であると考え、私自身やチームも取り組んでいます。しかし、これは、以前からやっていたもので、特に何か新たに始めたわけではありません。

時差の関係で、オリンピック大会時は試合の時間が、英国時間では大変遅い時間になってきますので、我々が常に注目すべきは、どのようにデジタルでファンとつなげていくか、東京でのチームの成功を感じていけるようにするにはどうすれば良いかという点です。

私自身、それに焦点を絞り、ソーシャルメディアのコンテンツ等、様々な違うデジタルを通して実践することに気を付けています。



質疑応答の様子

生徒からの感想

★一番心に残った話は？

- 情報通信環境が、世界全体でも発展している中、いかせるものをいかしてスポーツを世界全体で盛り上げていくことが大切だということ。

(1年生)

- スポーツマーケティングでは、毎回大きな話題を取り入れるのではなく、選手の瞬間、瞬間を取り入れている事が印象深かったです。

「キー」となる瞬間をみんなに知ってもらうことで、より多くの人にオリンピックを知ってもらえると私も共感しました。

(2年生)

- マーケティングを展開していくにあたって、ターゲットの幅を絞って応援してもらうために一貫性を持って、多方向からアプローチをしていくことが大切ということ。

(2年生)

- オリンピックは、4年に1度行われるが、その盛り上がりや注目度を一定に保つことに取り組んでいくところが一番印象に残っています。オリンピック自体、競うということがメインになるけど、それを宣伝していくという面で、開催中やその前後だけでなく、常に人々の注目を集めていられるようにという考えはなかったです。それができれば大会も盛り上がると思いました。

(2年生)

★意外だったことや新たに発見したことは？

- とにかくデジタルツールの活用が重要であること。  
(3年生)
- 海外では、チームを盛り上げるため、大会を盛り上げるために多くのデータを取って検証していること。  
(3年生)
- PRの方法が、日本よりも幅広く、積極的に選手を使っていること。  
(2年生)

★全体を通しての感想は？

- 映像を使って、企業に売り込むことや国民に対しても宣伝していることが新鮮でした。  
(3年生)
- スポーツマーケティングという職にたどりつくまでにどのようなことをしてきたのかも知ることができて良かったです。  
(2年生)
- ビジネス、マーケティングのことがよく分かりました。またアプローチの仕方や背景、どのようにして選手やチームの認知度を上げるのかが分かりました。将来、役に立てていきたいです。  
(3年生)
- 国民からこんなにも支持されているチームは日本にはないと思い、もっとスポーツとマネジメントについて深く知りたいと思いました。  
(3年生)

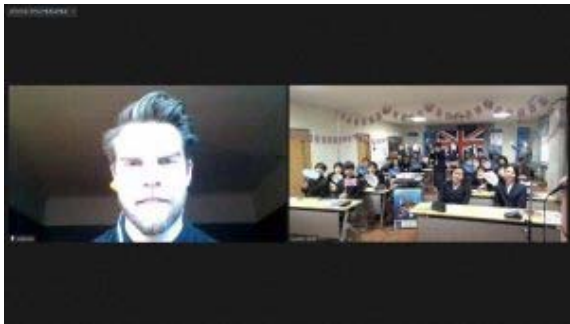


スクリーンに映るエド・ジョーンズ氏と記念撮影





講演会の様子



スクリーンショットで記念撮影

2020.11.24 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

東京 2020 パラリンピックを目指す英国選手たちの日常を映し出す  
『Paralympics+1』



## 英国パラリンピック委員会による動画が月 1 回配信されます

英国パラリンピック委員会では、来夏に延期された東京 2020 パラリンピックに向け、パラリンピアンたちがどのような日々を過ごしているかを、インタビューを交えた動画で紹介しています。

「ParalympicsGB+1」と題されたこの動画シリーズは、東京 2020 大会の延期により更なる 1 年の期間を得たアスリートの舞台裏を映したもので、今まで以上にパラリンピアンを身近に感じることができます。動画は毎月配信されます。

シリーズ第 1 弾として公開された動画では、カヌー競技のシャーロット・ヘンショウ選手が登場しました。彼女の練習現場から、当然訪れたニューノーマルな日々で体験した苦労や練習における工夫などを振り返るとともに、コロナによる大会延期と向き合う自身の心情を語っています（約 8 分）。

<https://youtu.be/JDWs-h3J4bk> **動画スタート画面**

さらにシリーズ第 2 弾には、**川崎市で事前キャンプを行う可能性のある、陸上競技のステフ・レイド選手**（走り幅跳び T64）が登場しました。彼女は、ロンドン 2012 大会で銀メダル、リオ 2016 大会でも銀メダルを獲得しています。大会出場時のクラスは、日本人の中西麻耶選手（リオ 2016 大会 4 位）、高桑早生選手と同じ T44 クラスです

## 英国パラ陸上のステフ・レイド選手（走り幅跳び T64）が登場

### ロックダウン中の練習も楽しく前向きに

春から夏にかけて英国では、コロナ感染拡大防止策として、ロックダウンという日本よりも厳しい措置が取られました。選手たちも公式練習はできず、自宅でトレーニングをする日々が続きました。

レイド選手は、2017 年のロンドン世界選手権で金メダルを獲得した後、怪我や事故が重なり、リハビリを経て、東京 2020 大会を目指していましたが、そこにコロナ禍が襲いました。

走り幅跳びに必要な砂場がないため、ロックダウン中はトレーニング用のラダーを購入し、毎週新しいステップを覚えて、楽しみながら身体を鍛えてきました。動画の中でも素早く複雑なステップを披露しています。

東京 2020 大会の延期を知った時は、「すごく残念だった」けれど、彼女は「人生なんて何の保証もないことは分かっていた」と、あくまで明るく語ります。「私の場合、完璧なプランが台無しになった経験は、これが初めてではありません」。

### 15 歳の時に知った「人生に絶対なんてことは何もない」という真実

彼女は、15 歳まではラグビー選手として活躍していました。当時はプロになることが目標だったのですが、ボートの事故で片脚を失いました。

「その時学んだことは、人生は何が起きるか分からない。常に変化するものであり、絶対ということは何もないということです。人生のプランを手放すことは辛いけど、順応すること。それが人生だから」と、話します。

英語のみの動画となりますが、彼女の明るい笑顔と、競技に取り組む姿は、パラスポーツの素晴らしさを言葉よりも雄弁に語っています。ぜひご覧ください（約 10 分）。

<https://youtu.be/INXJh6s31R0>

2020.12.18 ニュース | 横浜市

## 「英国をもっと知ろう」横浜市立北山田小学校でオンライン交流会が行われました。『Paralympics+1』



2020年12月17日(木)、横浜市立北山田小学校（横浜市都筑区）において、横浜市在住英国人、ジェニファー・スミスさんと北山田小学校5年生児童が、オンラインで交流会を行いました。



まずは、スクリーンに登場したジェニファーさんに、児童の皆さんが元気よくご挨拶。  
そして、交流会のスタートです。

最初に、英国代表競泳チームのエイミー・ウィルモット選手から横浜市の皆さんに送られたメッセージ動画を観ました。

エイミー・ウィルモット選手は、2019年に横浜国際プールで行われた、世界水泳大会に向けた事前キャンプにも参加していた選手で、動画の中で、「いつも応援していただきありがとうございます。今度、横浜で行われる事前トレーニングキャンプを楽しみにしています！」とメッセージを送ってくれました。

動画を観たあとは、ジェニファーさんが自己紹介をしてくださり、そして、英国ではどんなスポーツが人気か、英国の首都ロンドンでも、2012年にオリンピックが行われたことなどについてお話してくれました。ジェニファーさんは、マンチェスターのご出身で、マンチェスターには、サッカーの有名なチームが2つあることなどを教えてくれました。

ここで、ジェニファーさんから、英国に関するクイズの時間です。

英国の首都や英国発祥のスポーツに関するものなど、クイズは全部で4問出題されました。

中には、「英国でも人気のスポーツ、サッカーは、英国では何と呼ばれているか」といったクイズもあり、英語の勉強にもなり、児童の皆さんは夢中で答えを考えていました。

ちなみに、英国では、サッカーは“フットボール”と呼ばれているとのことでした。



クイズの途中、ジェニファーさんは、2012年のロンドンオリンピックの思い出についてお話してくださり、大会の開会式では、音楽なども含め、演出にロンドンらしさが散りばめられ、大変印象深かったとのことでした。聞いていた児童の皆さんも、2021年に予定されている東京大会の開催がより一層楽しみになった様子でした。



クイズの後は、今回の交流会メインとなるジェスチャーゲームが始まりました。

ここでもまた、ジェニファーさんから、英語の勉強となるような英単語や簡単な英文を教わり、児童の皆さんも早速、英会話に挑戦しながらジェスチャーゲームを楽しみました。

ジェニファーさんからのお題の中には、オリンピックにちなんだ競技名や用語、さらには、英国文化の一つとも言える“Tea Time”（お茶の時間）を表すジェスチャーなどを出題していただき、児童の皆さんは、積極的に手を挙げて答えてくれました。

また、児童の皆さんも、競技名などに関するジェスチャーに元気よく挑戦してくださり、大変盛り上がった時間となりました。



最後は、スクリーンに映るジェニファーさんと記念撮影。

その後、児童の皆さんから、ジェニファーさんにお礼の言葉が述べられ、ジェニファーさんからも、「これからも英国のことをたくさん学んでください」との言葉をいただき、交流会が終了しました。

今回、元気よくクイズやジェスチャーに挑戦してくれた北山田小学校の皆さん。オリンピックの時に、英国代表チームの選手やスタッフの皆さんが横浜で事前キャンプを行う際も、きっと元気よく英語で応援してくれるでしょう。

2021.01.05 ニュース | イベント | 横浜市

## 「英国の知見から学ぶ インクルーシブ・デザイン オンラインセミナー」の記録映像を公開します！

～共生社会ホストタウン事業～

### インクルーシブデザイン・オンラインセミナー



■日 時:2020年12月11日(金)  
18:00～19:00

■講演者:イアン・マッキノン 氏

横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課  
協力:ブリティッシュ・カウンシル

UK IN JAPAN  
GREAT PARTNERSHIP

横浜市は、東京 2020 大会における英国代表チームの事前キャンプ地・英国ホストタウンとして、また、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を実施する共生社会ホストタウンとして、これまで様々な取組を行ってきました。

この取組の一環として、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルや、ロンドンパラリンピックのレガシーとして設立されたグローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ(GDI Hub)のご協力のもと、2020年12月に、横浜市内スポーツ団体、スポーツ施設関係者等を対象とした、英国出身講師によるオンラインセミナーを開催しました。

「スポーツ施設におけるインクルーシブ・デザイン」をテーマに、現地英国とオンラインで繋いで行われたこのセミナーは、GDI-Hub オペレーション&インクルーシブ・デザイン部門ディレクター Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏を講師にお迎えし、「インクルーシブ・デザイン」というデザイン手法についての説明や、ロンドン 2012 大会の開催経験を踏まえたバリアフリーに関する事例をご紹介いただきました。また、質疑応答では横浜のスポーツ施設におけるバリアフリー化等についてもご意見を頂くなど、当日の聴講者にとっても有意義な機会となりました。

このたび、セミナーの内容をアーカイブとして公開いたします。日本ではまだあまり知られていない「インクルーシブ・デザイン」について、そして共生社会について考えていただくきっかけになればと思います。是非ご覧ください。



▲当日のオンラインセミナーの様子



▲英国事例を説明

★ご視聴になりたい言語の URL よりご覧ください。

**【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】**

- ・日本語で視聴したい方は[こちらをクリック](https://youtu.be/kbjPQjyGuNQ)→ <https://youtu.be/kbjPQjyGuNQ>
- ・英語で視聴したい方は[こちらをクリック](https://youtu.be/WljEKtd0Zs)→ <https://youtu.be/WljEKtd0Zs>

**●Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏のプロフィール**

グローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ (GDI Hub) オペレーション&インクルーシブデザイン部門ディレクター

英国アクセスコンサルタント (NRAC) のメンバーとして、複合施設の基本計画、新旧建築物、製品から会場やライブイベントの運営面まで、幅広いプロジェクトに対して創造的かつ革新的なソリューションを案出し、インクルーシブデザインに関する提言を行っている。

\* GDI Hub とは : 大学および文化機関の協働組織としてクイーン・エリザベス・オリンピック・パークを拠点に、地域コミュニティ、研究者、専門家、障害のある人々を結びつけ、ロンドンパラリンピック競技大会によって培われた経験と、障害に関する最先端の専門性を融合することで、更なるイノベーション、共同デザイン、クリエイティブ・シンキングをグローバルに推進している組織です。

2021.02.01 ニュース | イベント | 横浜市

## Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージで、横浜から英国代表チームへ笑顔を贈ります



横浜市は英国の事前キャンプ地、ホストタウンとして、これまで英国と横浜をつなぐ様々な取組を行ってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、英国との直接的な交流が難しい状況が続いています。

東京 2020 大会に向けて、英国で地道な努力を行っている、英国代表チームのみなさんに横浜から笑顔と元気を届けたい！その思いを胸に、10月31日（土）、11月1日（日）に横浜、日本大通りで開催された「秋のローズ&ガーデンマーケット2020」にて、英国等事前キャンプ・ホストタウンPRブース」にご来場いただいた市民の皆様の写真撮影を実施しました。

当日は素晴らしいお天気のもと、約180組、300人以上の市民の皆様にご協力をいただき、たくさんの笑顔の写真が撮れました！ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

撮影した写真は応援メッセージと共に3篇のスライド映像に編集し、英国代表チームにもお届けします。

私たちはこれからも、英国と横浜の絆を深め、さまざまな分野で交流が続くことを心から願っています。



【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】

スライド映像は、こちらのURLよりご覧ください。

- Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ Vol 1.

<https://youtu.be/jEHi4UB3-6k>



- Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ Vol 2.

<https://youtu.be/xPHYJ7VwLS8>



- Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ Vol 3.

<https://youtu.be/CILRZTbHdII>



2021.03.08 ニュース | 横浜市

「英国をもっと知ろう」横浜市立東山田小学校でオンライン交流会が行われました。



2021年3月5日(金)、横浜市立東山田小学校（横浜市都筑区）において、横浜市在住英国人、ジェニファー・スミスさんと東山田小学校5年生児童が、オンラインで交流会を行いました。



まずは、スクリーンに登場したジェニファーさんに、児童の皆さんが元気よくご挨拶。そして、交流会のスタートです。

最初に、英国代表競泳チームのエイミー・ウィルモット選手から横浜市の皆さんに送られたメッセージ動画を観ました。

エイミー・ウィルモット選手は、2019年に横浜国際プールで行われた、世界水泳大会に向けた事前キャンプにも参加していた選手で、動画の中で、「いつも応援していただきありがとうございます。今度、横浜で行われる事前トレーニングキャンプを楽しみにしています！」とメッセージを送ってくれました。

動画を観たあとは、ジェニファーさんが自己紹介をしてくださり、そして、英国ではどんなスポーツが人気か、英国の首都ロンドンでも、2012年にオリンピックが行われたことなどについてお話してくれました。ジェニファーさんは、マンチェスターのご出身で、マンチェスターには、サッカーの有名なチームが2つあることなどを教えてくれました。

ここで、ジェニファーさんから、英国に関するクイズの時間です。

英国の首都や英国発祥のスポーツに関するものなど、クイズは全部で4問出題されました。

中には、「英国でも人気のスポーツ、サッカーは、英国では何と呼ばれているか」といったクイズもあり、英語の勉強にもなり、児童の皆さんは夢中で答えを考えていました。

ちなみに、英国では、サッカーは“フットボール”と呼ばれているとのことでした。



クイズの途中、ジェニファーさんは、2012年のロンドンオリンピックの思い出についてお話してくださり、大会の開会式では、音楽なども含め、演出にロンドンらしさが散りばめられ、大変印象深かったとのことでした。聞いていた児童の皆さんも、2021年に予定されている東京大会の開催がより一層楽しみになった様子でした。



クイズの後は、今回の交流会メインとなるジェスチャーゲームが始まりました。

ここでもまた、ジェニファーさんから、英語の勉強となるような英単語や簡単な英文を教わり、児童の皆さんも早速、英会話に挑戦しながらジェスチャーゲームを楽しみました。

ジェニファーさんからのお題の中には、オリンピックにちなんだ競技名や用語、さらには、英国文化の一つとも言える“Tea Time”（お茶の時間）を表すジェスチャーなどを出題していただき、児童の皆さんは、積極的に手を挙げて答えてくれました。

また、児童の皆さんも、競技名などに関するジェスチャーに元気よく挑戦してくださり、大変盛り上がった時間となりました。



最後は、スクリーンに映るジェニファーさんと記念撮影。

その後、児童の皆さんから、ジェニファーさんにお礼の言葉が述べられ、ジェニファーさんからも、「これからも英国のことをたくさん学んでください」との言葉をいただき、交流会が終了しました。

今回、元気よくクイズやジェスチャーに挑戦してくれた東山田小学校の皆さん。オリンピックの時に、英国代表チームの選手やスタッフの皆さんが横浜で事前キャンプを行う際も、きっと元気よく英語で応援してくれるでしょう。

2021.03.11 ニュース | イベント | 横浜市

「英国パラリンピアンからのメッセージ ～共生社会を考える～」オンラインセミナーをライブ配信します！

## 英国パラリンピアンからのメッセージ ～共生社会を考える～ オンラインセミナー



■日 時:2021年3月19日(金)  
17:30～18:30

■講演者:スージー・ロジャース氏

横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課  
協力:ブリティッシュ・カウンシル

UK IN JAPAN  
GREAT PARTNERSHIP

★～こちらの事業は終了しました～



横浜市は、東京2020大会における英国ホストタウンとして、また、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を実施する共生社会ホストタウンとして、これまで様々な取組を行ってきました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、英国との直接的な交流が困難となりましたが、オンラインを活用した交流に取り組んでいます。

このたび、オンライン交流の一環として、2016年のリオデジャネイロパラリンピックにて金メダルを獲得した、英国パラリンピアンのスージー・ロジャース氏を講師にお招きし、ご自身の経験をもとに共生社会について考えるオンラインセミナーをライブ配信いたします。共生社会に関する活動を精力的にされている英国のパラリンピアンが現地英国より生出演し、直接メッセージを聞くことのできる貴重なセミナーです。ぜひご視聴ください！

**日 時：**令和3年3月19日(金)17時30分～18時30分(予定)

**視聴方法：**YouTubeライブ配信にて実施します。(無料)

★日英同時通訳により行いますので、日本語配信と、英語配信をご用意しています。ご視聴になりたい言語のURLより、ご覧ください。

#### 【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】

・日本語で視聴したい方は **こちらをクリック** → <https://youtu.be/LD8ny2s8OqY>



・英語で視聴したい方は **こちらをクリック** → <https://youtu.be/ee4jAyJwvHQ>



**協 力：**ブリティッシュ・カウンシル

\*当オンラインセミナーで配信した映像は後日アーカイブとして、同チャンネルにてアップロードする予定です。詳細は当サイトにてお知らせいたします。

#### ●Susie Rodgers (スージー・ロジャース) 氏のプロフィール

スージー・ロジャース氏は、2度のパラリンピック大会出場を経験している元水泳選手です。ロンドン2012パラリンピックで、3つの銅メダルを獲得し、リオ2016パラリンピックでは、金メダルと2つの銅メダルを獲得しました。

現在では、英国の外務・英連邦開発省で経済的エンパワーメントにおけるディスアビリティ・インクルージョン\*1に関する顧問を務めています。

また、インクルージョンについてグローバルに講演活動を行っており、英国の海洋保護協会の大使も担っています。さらには、世界経済フォーラムの若きグローバルリーダーであり、ブリティッシュ・カウンシルの障害者諮問委員会のメンバーでもあります。

2017年には、女王陛下から水泳競技への貢献に対して MBE\*2 を授与されました。

\*1 障害のあるすべての人びとが教育、訓練、雇用、社会のあらゆる側面に参加することを促進し、確保し、そうした参加が十分できるために必要なサポートや便宜を提供するという考え方であり、障害のある人もない人も共生し、包摂するという考え方である。

\*2 Member of the Most Excellent Order of the British Empire の略。大英帝国勲章

記者発表資料は**こちらから**

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shimin/2020/0310kyousei.html>



## 📣 ニュース&イベント

2021.06.23 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜市】英国パラトライアスロンチームからのメッセージが届きました！ ～英国と横浜 映像でつながる絆～



ありがとう  
THANK YOU

5月15日（土）、16日（日）に2021ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会が、徹底した新型コロナウイルスの感染防止対策のもと、2年振りに無観客で開催されました。横浜市は、英国の事前キャンプ地・ホストタウンとして、2018年より横浜大会に出場する英国トライアスロン、パラトライアスロンチームと市内小学校との交流を行ってきましたが、今回は残念ながら直接の交流は実現しませんでした。

そこで、少しでも応援の気持ちを伝えるべく、市民の皆様にご協力いただき制作した、「Yokohama, Friends of Great Britain! Photo 応援メッセージ」を英国トライアスロンチームへ映像をお届けしたところ、とても喜んでいただきました！

さらに、横浜大会に出場した英国パラトライアスロンチームのコーチと、見事メダルを獲得した選手よりお礼のビデオメッセージをいただきましたのでご覧ください。

【YouTube 横浜市東京2020関連情報公式チャンネル】

<https://youtu.be/3zpxlHckTrc>

・GOGB トライアスロンチームからのメッセージ動画は次の YouTube URL よりご覧ください（英語）

\* 冒頭録音状況により、音声小さくなっております。ご了承ください。

<https://youtu.be/3zpxlHckTrc>



映像の参考和訳は以下のとおりです。

↓↓↓↓↓

[Jonathan Riall] ジョナサン・ライアル コーチ



こんにちは！ジョナサン・ライアルです。英国パラトライアスロンのヘッドコーチをしています。横浜市の皆様、また英国パラリンピックムーブメントと英国パラリンピックチーム、とりわけ毎年ここ横浜を訪れるトライアスロンチームをサポートくださる横浜の皆様に深く感謝いたします。我々は、2014年以來、毎年この地を訪れており、もちろんここが大好きです。今日は、ジョージとマイケルがレースに参加し、大変喜ばしいことに、両名とも非常に素晴らしいレースを行い、ジョージが優勝、マイケルが2位という結果になりました。皆様にサポートいただくことはいつも喜ばしく、また、横浜に戻ってこられることも、いつも嬉しく思います。8月にまた戻ってこられるようお願いしており、もちろん来年も同様で、皆様に直接お会いできることを願っております。本当にありがとうございました。また近いうちに会いましょう。

[Michael Taylor] マイケル・テラー 選手



皆さんこんにちは。マイケル・テラーです。英国から来ました、パラトライアスロン選手です。今回、このような素晴らしい大会にお招きいただき、横浜市にお礼を申し上げます。この大会は非常に素晴らしいもので、皆さまからのとても温かい歓迎の気持ちを感じることができ、十分楽しむことができました。また、お陰様で、いただいた応援メッセージ動画でモチベーションを維持することが出来ました。そして結果、銀メダルを獲得しました。本当にありがとうございます。また近い将来、戻ってこられることを願っています。

[George Peasgood] ジョージ・ピースグッド 選手



今週送っていただきました応援メッセージ動画ですが、横浜市の皆さんに深く感謝します。動画は本当に感動的で今回の試合に臨む上で、とても勇気づけられました。また、ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会を開催して下さったことに深く感謝いたします。競技が再開できることは非常に喜ばしく、とても素晴らしい雰囲気の中で行われました。僕もレースを非常に楽しむことができました。本当にありがとうございました。

2021.07.01 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

**東京 2020 オリンピック・パラリンピック英国代表チーム 横浜市・川崎市・慶應義塾大学で事前キャンプを開始 -事前キャンプの概要-**



東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた英国代表チームの事前キャンプが、横浜市・川崎市・慶應義塾大学でスタートします。今回の事前キャンプは、英国と横浜市・川崎市・慶應義塾大学の3者が平成 28 年より数年にわたる調整準備を重ねた結果、実現するものです。

事前キャンプの実施にあたっては、大会組織委員会や国等から示された「プレイブック」等に基づき、英国代表チームと横浜市・川崎市・慶應義塾大学が連携し、事前キャンプ期間中の感染症対策を徹底し、安全・安心な事前キャンプを運営します。

## <事前キャンプの概要>

【英国代表チーム全体の規模】 約 600 人（オリンピック）、約 200 人（パラリンピック）

### 横浜国際プール（横浜市）



キャンプ期間 令和3年7月12日～8月5日（オリンピックのみ）

人数 約50人（オリンピック）

競技 ●水泳 ・競泳 ・アーティスティックスイミング ・飛込（ダイビング）

### 等々力陸上競技場、補助陸上競技場（川崎市）



キャンプ期間 令和3年7月9日～8月2日（オリンピック）

8月14日～9月2日（パラリンピック）

- 人 数 約 200 人 (オリンピック)、約 100 人 (パラリンピック)
- 競 技 【オリンピック】
- 陸上競技 ●サッカー ●7人制ラグビー
- 【パラリンピック】
- 陸上競技

### 慶應義塾大学日吉キャンパス



キャンプ期間 令和3年7月8日～8月7日 (オリンピック)、  
8月13日～9月1日 (パラリンピック)

人 数 約 400 人 (オリンピック)、約 100 人 (パラリンピック)

競 技 【オリンピック】

- アーチェリー ●ボクシング ●柔道 ●ウエイトリフティング
- バドミントン ●フェンシング ●ホッケー ●テコンドー
- バスケットボール ●体操 ●近代五種 ●卓球 ほか

【パラリンピック】

- アーチェリー ●テコンドー ●パワーリフティング ●柔道
- 車いすフェンシング

**前述の3施設のほか、次の2施設も使用予定です。**

### 横浜カントリークラブ

【利用方法】 一般客が利用していないゴルフコースをランニング

【利用期間】 令和3年7月16日～7月31日 (早朝、夕方)

【競技及び人数】 陸上競技 (ロード) ほか、約 30 人

### パシフィコ横浜ペDESTリアンデッキ

【利用方法】 デッキの一部を市民等との接触がないよう区分し、ジョギングや  
トレーニングなどの軽い運動

【利用期間】 令和3年7月9日～7月28日 (午前のみ)

【競技及び人数】 ボクシング、サッカー、ホッケーほか、約 50 人

- ※ 7月1日から各施設で順次、英国オリンピック委員会（BOA）スタッフによる事前準備を実施。
- ※ 複数施設で練習する選手がいるため、各施設の人数は重複していることがあります。
- ※ 上記の内容は現時点の情報であり、今後、変更となる可能性があります。

2021.07.01 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 安心・安全な事前キャンプ運営に向けた感染症対策



英国代表チームの皆様が安心して事前キャンプを実施し、市民の皆様も安心して英国代表チームの皆様をお迎えしてもらうため、三密の回避、社会的距離の確保、マスクの着用、手洗い・消毒などの基本的対策を徹底するとともに、「プレイブック」（IOC、IPC、大会組織委員会）や国からの指示等に基づき、主に次の対策に取り組みます。

なお、昨年末以降の変異株の発生・流行など、日々刻々と変化する状況や求められる対策等に適切に対応してまいります。

（下記の対策は令和3年6月30日時点の内容です。）

## **(1) 英国代表チームの出入国時における感染症対策**

- ・ 出発 2 週間前から隔離措置を始め、隔離生活期間中に合わせて 5 回検査を実施する。
- ・ 出国前 3 日間、毎日検査を実施し、陰性証明を取得し、検疫又は入国審査時に提出する。
- ・ 入国前 14 日間の健康モニタリングを提出する。
- ・ 入国時、空港にて検査を受検する（検査結果判明まで指示した待機場所に留まる）。

## **(2) 英国代表チームの事前キャンプ期間中の感染症対策**

### **ア スクリーニング検査**

- ・ 事前キャンプ地に滞在中の選手等に対し、毎日検査を実施する。

### **イ 選手等の行動管理**

- ・ 選手等の行動は、宿泊施設と練習会場等の用務先の往復のみに限定する。

### **ウ 市民等との接触を避けるための対策**

- ・ 公共交通機関は利用せず、専用車両で移動する。
- ・ 宿泊施設において、他の宿泊客との接触を避けるため、宿泊フロアや動線を分離する。
- ・ 食事は他の宿泊客等との接触を避け、宿泊施設内の専用会場で摂ることを原則とする。
- ・ 練習会場は、貸切を原則とし、関係者以外の立入りは不可とする。

## **(3) 事前キャンプ関係者の感染症対策**

- ・ 事前キャンプに関わる市職員や宿泊施設・練習会場などの関係者には、ワクチン接種（任意）や、活動に従事する 14 日前から検温・体調チェックを実施する。
- ・ 英国代表チームとの接触の度合いに応じて、定期的に検査を実施する。

2021.07.09 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック英国事前キャンプに向けて 英国オリンピック・パラリンピック代表チーム団長がコメントを発表



横浜市・川崎市・慶應義塾大学で行われる英国代表チームの事前キャンプに向けて、英国オリンピック代表チーム団長のマーク・イングランド氏、英国パラリンピック代表チーム団長のペニー・ブリスコー氏がコメントを発表しました。

英国代表チームの皆様が、大会で最高のパフォーマンスを発揮していただけるよう、横浜市・川崎市・慶應義塾大学で連携し、感染症対策を徹底して事前キャンプを運営します。

### 【英国オリンピック委員会 参考和訳】

東京 2020 オリンピック英国代表チーム選手団長、マーク・イングランド (Mark England) 氏からのコメントです。

「大切なパートナーである横浜市・川崎市・慶應義塾大学のご支援のおかげで、オリンピック開催前に英国代表チームの選手にとって重要な事前キャンプを実施できることになり、心より御礼申し上げます。」

「私たちは市民、選手、選手団の健康と安全を最優先に考えております。また、私たちはこの後訪日しますが、全員の安全を守るために事前キャンプ関係者の皆様が準備を重ねてこられたことに感謝いたします。」

東京 2020 組織委員会と日本政府によって共同製作された東京 2020 大会の公式「プレイブック」と「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル」（内閣官房）に基づいて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、英国との協力のもと、安全・安心な事前キャンプを運営します。オリンピック・パラリンピック英国代表チームと市民の全員の健康と安全を守るため、「プレイブック」等に基づいて、次のとおり新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。

① 選手団の出入国時における感染症対策

- 入国前に 14 日間の自己隔離を実施し、新型コロナウイルス検査を計 5 回実施する。陰性結果証明書を取得し、検疫または入国審査時に提出する。
- 入国前に 14 日間の健康観察を実施し、その記録を提出する。
- 空港到着時、新型コロナウイルス検査を受ける（検査結果が判明するまで専用の場所で待機する）。

② 事前キャンプ期間中の感染症対策

- a. スクリーニング検査 - キャンプ地に滞在している選手等は、事前キャンプ期間中を通じて毎日スクリーニング検査を受ける。
- b. 選手団の行動管理 - 選手等の移動は、宿泊施設と練習会場などの用務先の往復のみに限定する。
- c. 市民との接触を避けるための対策 - 選手等の移動には、公共交通機関ではなく専用車両を使用する。他の宿泊客との接触を避けるため、チームの宿泊フロアや動線を分離する。食事は専用の食事室のみで行う。

③ ホストタウン関係者の感染症対策

ホストタウンの事前キャンプに従事する市職員、宿泊施設や練習会場の関係者は、ワクチン接種を受け（任意）、従事前 14 日間の健康観察を実施する（毎日の検温を含む）。接触の度合いに応じて、定期的にスクリーニング検査を受ける。

以上

**【英国パラリンピック委員会 参考和訳】**

**東京 2020 パラリンピック英国選手団長、ペニー・ブリスコー（Penny Briscoe）氏からのコメント**です。

「選手の事前キャンプを運営するため、パートナーである横浜市・川崎市・慶應義塾大学と緊密に連携・協力してきました。また、英国と日本のチーム全体で、選手団や市民の健康と安全を最優先に考え、入念な計画を立ててきました。」



『プレイブック』に基づき、チーム全員の安全を守るために、検査を含むさまざまな感染症対策を徹底します。パートナーの皆様との緊密な協力のおかげで事前キャンプを実施できることになり、心より御礼申し上げます。選手たちは、皆様が私たちのためにご尽力いただいたことに感謝しており、訪日を心待ちにしております。」

【原文】

**Team GB Chef de Mission for the Tokyo Olympic Games, Mark England, said:** “We are extremely proud and grateful for the ongoing support that we have received from our valued partners in Yokohama, Kawasaki and Keio University in ensuring that we can provide the optimum Preparation Camp for Team GB athletes before they compete at the Tokyo Olympic Games. ”

“The health and safety of the Japanese public and of the athletes and our delegation remains our number one priority and we know that our Preparation Camp partners have gone above and beyond to guarantee the safety of everyone when we arrive in country later this month.”

We will fully comply with all COVID-19 Countermeasures pertaining to the official Games ‘Playbooks’ produced by Tokyo 2020/Japanese government and ‘Host Town Acceptance Manual’ to deliver safe and secure preparation camps in cooperation with the UK.

To safeguard all members of the Team GB and Paralympics GB and the local residents in Japan, we will fully comply with COVID-19 Countermeasures upon the official Games ‘Playbooks’ (IOC, IPC, Tokyo 2020) and ‘Host Town Acceptance Manual’ (Cabinet Secretariat) as follows;

① Measures upon entry into and departure from Japan imposed on the delegation

- All delegates need to self-isolate 14 days prior to the departure and have five COVID tests in total. They must obtain negative test certificate and submit it to the Quarantine Officer and/or at immigration control when they arrive in Japan.
- All delegates need to do 14 days of health monitoring prior to departure and submit the record.
- All delegates need to complete COVID-19 testing on arrival of the airport. (They will wait at the designated waiting area to get their test results).

② Measures during the Preparation Camps

- a. Screening Test – All delegates who stay at camp sites will complete screening tests every day during their preparation camps.
- b. Behavioral Management of the delegation – All delegates are restricted to travel only between their accommodation venues and their business destinations such as training venues.

c. Measures to avoid contact with the local residents – All delegates will use dedicated Games vehicles and do not use public transport. Any floors with Teams' rooms booked will be blocked and separate flows to avoid contact with other hotel guests. The delegation also use their private dining room

③ Measures for Host Town staff

All staff members, who engage the preparation camps, in local governments, accommodation venues and training venues at Host Towns will be vaccinated (optional) and do 14 days of health monitoring including taking daily body temperatures. Also, they will have regular screening tests, depending on how close they get.

Ends

**ParalympicsGB Chef de Mission for the Tokyo Paralympic Games, Penny Briscoe, said:**

“We have been working closely and collaboratively with our partners in Yokohama, Kawasaki and Keio University to ensure that we can deliver successful Preparation facilities for our athletes. There has been a lot of planning across our teams in the UK and in Japan to prioritise the safety of our delegation and the health and safety of the Japanese public.”

“We will go beyond the measures outlined in the playbooks in a number of areas including testing to deliver a safe environment for the team. We are very grateful to our Japanese partners for working so closely with us to achieve this and our athletes are very aware of how hard everyone is working on their behalf and are looking forward to arriving in Japan.”

2021.07.12 ニュース | イベント | 横浜市

【横浜市】港北区役所、日吉商店街、KEIO2020project が英国代表チームに送る応援動画を公開！



～横浜から英国代表チームにエールを～

**“Welcome to Yokohama!” “Rooting for you!”**

英国代表チームの事前キャンプがいよいよ始まりました！横浜市港北区では、慶應義塾大学で滞在サポートを行う学生プロジェクト KEIO2020project と共に、感染症対策を徹底しながら、英国代表チーム応援動画を制作しています。



写真：日吉商店街の花屋さんでの動画の撮影風景

セミの鳴き声が聞こえてきた6月24日、日吉商店街で動画の撮影を行いました。「ようこそ横浜市へ！」という“おもてなし”の気持ちと、「頑張れ！英国！」という“親愛の情”を込め、地域のみなさまとともに発信します。

動画：日吉商店街（別添）



★こちらのURLよりご覧ください。 <https://youtu.be/QAMId2nYENU>



写真：日吉商店街の動画の撮影風景

～メッセージをバトン形式で繋ぎます～

日吉の商店街、港北区役所及び KEIO2020project が一体となって撮影した**各 15 秒程度のメッセージ動画を Instagram にリレー形式で配信しています。**

KEIO2020project 公式ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください！

URL : <https://ipe.hc.keio.ac.jp/keio2020project/>

私たちはこれからも、英国と横浜の絆を深め、さまざまな分野で交流が続くことを心から願っています。

2021.07.14 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】ようこそ英国水泳代表チーム！北山田駅前広場に「GOGB 2020」のデザインマンホール設置！



東京 2020 大会開催に向けて、横浜国際プールでは、英国水泳代表チームの事前キャンプを行っております。

事前キャンプに合わせ、『GOGB！ガンバレ英国！』のロゴマークをデザインした 11 枚のマンホールの蓋を北山田駅前広場に設置いたしました。

区民一同、東京 2020 大会に向けて練習をしている英国水泳選手の皆様にエール送ります。



【北山田駅前広場に設置されたデザインマンホール】

コロナの影響に伴い、選手のみなさんは公共交通機関も利用できないため、直接見ていただくことはできませんでしたが、横浜国際プールの練習会場内にレプリカを展示し、英国選手団の皆様にご覧いただきました。



【横浜国際プールに展示したレプリカ】



【英語の説明も添えて】

2021.07.20 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】都筑区のオリンピック・パラリンピック教育推進校が英国オリンピック水泳代表チームと交流を行いました！！



いよいよ始まる東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、7月 12 日から英国水泳代表チームが横浜国際プールで事前キャンプを行っています。



英国事前キャンプの開始に合わせて、都筑区のオリンピック・パラリンピック教育推進校である東山田小学校、北山田小学校、牛久保小学校の児童が、オンラインによる交流のほか、G O G B 旗など 3 種類の旗にチームを歓迎し応援するメッセージを記入して贈る取組を実施しました。



## ■ オンライン交流

北山田小学校 5年生、牛久保小学校 5年生、6年生の児童の皆さんにご協力頂き、両校の教室と横浜国際プールをオンラインで結び、英国水泳選手やコーチ等とオンラインによる交流を行いました。



児童の皆さんは選手たちに熱心に質問した後、各クラスから心のこもったエールをおくるなど、貴重な交流の機会となりました。

## ■ 応援メッセージ入りの旗の作成・展示・寄贈

東山田小学校 5、6年生、北山田小学校 1～6年生、牛久保小学校 5、6年生の3校の児童の皆さんが、英国チームを歓迎及び応援する思いのメッセージを書いたGOGB旗・英国国旗・都筑区旗の3種類14枚を作成しました。





キャンプ期間中は、横浜国際プール内の装飾も兼ね、英国選手等が練習するエリアに掲出し、選手はもとより、英国チームに大きな力を与えてくれました。これらの旗は選手村に発つ際に英国水泳代表チームに寄贈しました。



2021.07.21 ニュース | 横浜市

**【横浜市】東山田小学校の児童等が横浜国際プールで事前キャンプを行った英国オリンピック水泳代表チームをサプライズでお見送りをしました！！**



7月20日（火）、横浜国際プールで事前キャンプを行った英国オリンピック水泳代表チームが、選手村に向けて出発しました！！

英国代表水泳チームが、横浜国際プールでの練習が最後になったこの日、サプライズで東山田小学校5年生と6年生が校庭から英国選手のお見送りをしてくれました。



校庭から元気に声援を送ってくれた子どもたち

バスに乗り込む英国の選手のみなさんは、思いがけない突然の交流にとっても驚いていました。



バスに乗り込む前に、手を振り返してくれた選手のみなさん

フェンス越しに子どもたちは手旗を振りながら「GO GB！（ゴージービー・がんばれ、英国）」コールで選手にエールを送り、バスに乗り込む前に選手達も、子供たちに向けて手を振り、とても嬉しそうにエールに応えてくれました。



GO GB の旗を手に元気にお見送り



声援に応える選手のみなさん

選手を見送った子どもたちは、短い時間でしたがオリンピック代表選手を間近に見る貴重な機会に興奮していました。

2021.09.30 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 英国オリンピック委員会最高経営責任者アンディ・アンソン氏からのメッセージが届きました。



英国オリンピック委員会 CEO アンディ・アンソン氏

東京 2020 オリンピック競技大会は、関係者の懸命な努力と選手たちの並外れた能力を結集した、他に類を見ない大会として人々の記憶に刻まれることでしょう。

通常のオリンピックの開催でさえ困難なものではありますが、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが世界中で発生し、英国代表チームが目指す目標をすべて達成することは大変難しく思えました。

しかしながら、パートナーである慶應義塾大学、川崎市、横浜市による熱心で献身的なサポートのおかげで、私たちは世界トップレベルの総合的な環境でトレーニングを実施することができました。私たちが直面するすべての課題や問題を解決するために、パートナーの皆様はチーム一丸となってそれぞれの専門知識を結集し、一生懸命に、積極的にサポートしていただきました。皆様の力添えがあったからこそ、英国代表チームは東京 2020 で素晴らしい成功を収めることができました。

パートナーの皆様が、私たちのために膨大な時間を費やし、尽力いただいたことに感謝します。東京 2020 の思い出を心に刻み、友好関係が未永く続くことを願っています。

ありがとうございます。

英国オリンピック委員会 CEO

アンディ・アンソン

The Tokyo 2020 Olympic Games will be remembered as a Games like no other – one of sheer human endeavour and extraordinary sporting prowess.

They were always going to be a highly complex Olympic Games to deliver and that was before the Covid-19 pandemic, which complicated further the task of delivering on all of Team GB's ambitious targets.

At the heart of our operation was a comprehensive and world-leading performance environment that we delivered with the integral support, enthusiasm and commitment of our partners at Keio University and the cities of Kawasaki and Yokohama. The support, expertise, diligence and positivity that their teams brought to every task and challenge we faced was vital to the ultimate success of Team GB at Tokyo 2020 – we couldn't have done it without them.

It is not just the time and effort from our partners in Tokyo that was so important but we will be forever grateful for the friendships that have been formed that will last well into the future. We hope that it is a future inspired by the memories of Tokyo 2020.

Arigato gozaimasu,

Andy Anson

CEO, British Olympic Association

2021.10.30 ニュース | 横浜市 | 川崎市 | 慶應義塾大学

## 英国パラリンピック委員会最高経営責任者マイク・シャーロック氏からのメッセージが届きました。



英国パラリンピック委員会は、横浜市・川崎市・慶應義塾大学との素晴らしいパートナーシップを通じて、英国代表チームの事前キャンプを実施させていただいたことを非常に誇りに感じております。今回の事前キャンプは、大会に向けた重要な要素であり、チームの成功にも不可欠なものでした。パートナーの皆様は、コロナ禍の困難で複雑な状況の中、世界トップレベルの施設と最高の環境を英国代表選手およびスタッフに提供してくださいました。

更に、提供いただいた施設・環境では、『スポーツを通じ、障害を持つ人々にとってより良い世界をインスパイアする』という我々の理念が反映されていました。施設へのアクセスの改修を通じて、また、

市民の皆様とのパンデミック前の対面での交流や現在のオンラインでの交流イベントを通じて、お互いに学びや変化のきっかけを得ることができました。皆様方の懸命なご尽力と温かい心遣いに深く感謝申し上げます。また、このパートナーシップが今後も未永く続くことを期待しております。

ありがとうございます。

英国パラリンピック委員会 CEO  
マイク・シャーロック

The British Paralympic Association is incredibly proud to have worked with Keio University and the cities of Yokohama City and Kawasaki City to deliver our pre-Games Preparation Camp. This camp was an essential part of our Games time operations and vital to the success of our team at the Games. Our partners embraced the complexity that the pandemic posed and delivered world class facilities and the best possible environment for our athletes and staff to prepare in.

More than that though, they embraced our vision to use sport to inspire a better world for disabled people. Through accessibility modifications to facilities and engagement events with local citizens both in person pre pandemic and now virtually we have inspired change and learnt from each other. We are very grateful for the warmth and enthusiasm of everyone we worked with and look forward to continuing our work together in the future.

Arigato gozaimasu

Mike Sharrock  
CEO, British Paralympic Association

2021.11.05 ニュース | 横浜市

英国代表チームから横浜市へ、感謝を含めた記念品が贈呈されました！



事前キャンプが無事終わり、英国代表チームから事前キャンプ受入の感謝を含めて、選手のサイン入り写真パネルやユニフォームなど、様々な記念品が贈呈されました。

贈呈された記念品や、英国代表チームが練習施設や宿泊施設で装飾に使用していた物品は、2021年9月から10月にかけて、横浜市庁舎アトリウムや横浜国際プール、都筑区役所等で展示されました。横断幕や色紙には、サインだけでなく選手たちのあたたかい感謝のメッセージがたくさん書き込まれ、中には日本語で「Arigato」の文字も。展示の際は事前キャンプ中の写真も飾られ、市庁舎などを訪れた多くの方々の目に触れる機会となりました。

記念品の一部は練習施設となった横浜国際プールや横浜カントリークラブ、宿泊施設、代表チームと交流した小学校に寄贈されました。横浜国際プールでは選手たちのサインなどが常設展示されていますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。





2021.12.01 ニュース | 横浜市

## 【横浜市】英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」感謝会が行われました！



10月31日(日)、「横浜ホストタウンサポーター」の感謝会を行いました。開港以来英国との縁の地・横浜市イギリス館を会場に、横浜市庁舎や都筑区で巡回展示された、英国代表チームからの感謝が沢山書き込まれたサインの数々や、実際に英国チームがキャンプで使用した装飾、活動中サポーターの方々に作成いただいたプラカードなどを展示。英国らしさやキャンプ当時の雰囲気溢れる中、皆さんにも活動時のユニフォームを着てお集まりいただき、事前キャンプ終了以来の久しぶりの再会にまるで同窓会のような和やかな雰囲気、感謝会がスタートしました。

まず初めに、英国代表チーム事前キャンプを写真とともに振り返り。様々な記憶が懐かしくよみがえった後は、感謝を含めて、英国代表チームと横浜市からサポーターの皆さまへ記念品贈呈式です。英国オリンピック委員会からはキャンプで使用されたポスターやネックストラップ、英国パラリンピック委員会からは一人ずつ名前が入った感謝状など、ボランティア活動の記念となる品々が贈られ、横浜市からは横浜国際プールで英国チームが使用した大きな横断幕をリサイクルして製作したエコトートバックと活動記録集などを贈呈。お一人ずつコメントいただき、活動時の思い出や印象に残ったエピソードなどを共有いただきました。

最後は英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会など計6名の方々から、英国事前キャンプを2か月に渡り毎日力強く支えてくださったサポーターの方々に、10分以上に渡る感謝のビデオメッセージを放映。GO GB 2020のフラッグを手に全員で記念撮影を行い、感謝会が終了しました。

あっという間の一時間半でしたが、皆さま笑顔で、またいつの日か再会できることを祈りつつ会場を後にしました。

